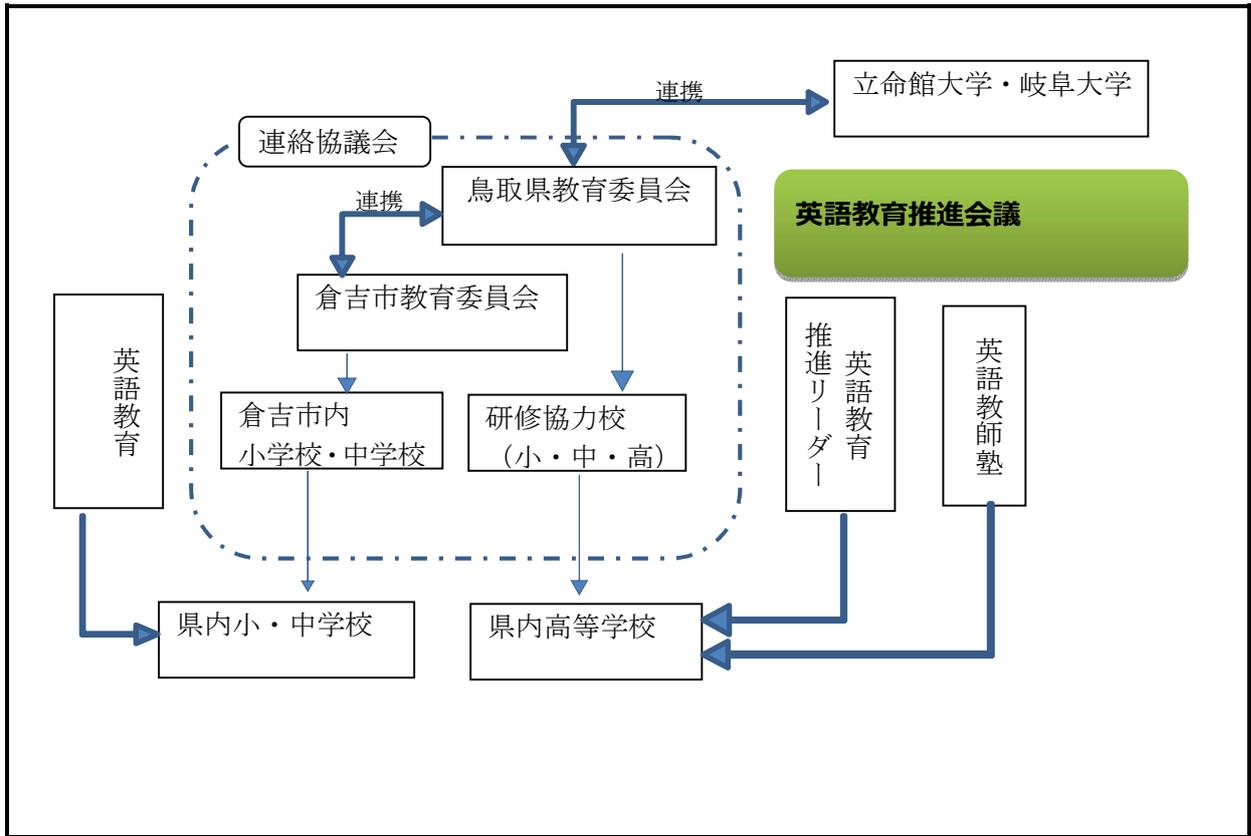


(様式3-2)

鳥取県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理
 域内の全中学校及び全高等学校における割合と状況（平成 29 年度については、「平成 29 年度英語教育実施状況調査」集計結果等による）

①求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

- ・ 中学校

平成 26 年度	26.5%	平成 27 年度	25.7%	平成 28 年度	20.7%	平成 29 年度	28.2%
平成 30 年度	40%						
- ・ 高等学校

平成 26 年度	75.4%	平成 27 年度	70.9%	平成 28 年度	76.0%	平成 29 年度	83.3%
平成 30 年度	88%						

○方策

- ・ 中学校教員採用試験の際、外部検定試験の一定条件を有する受験者への加点。
- ・ 各教員の英語力を調査し、求められる英語力を有していない教員に対して、悉皆で「英語力向上のためのセミナーと英語力判定のための TOEIC」を実施し、改善を図る。

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

- ・ 中学校第 3 学年

平成 26 年度	32.0%	平成 27 年度	40.7%	平成 28 年度	34.4%	平成 29 年度	35.7%
平成 30 年度	40%						
- ・ 高等学校第 3 学年

平成 26 年度	29.0%	平成 27 年度	35.0%	平成 28 年度	33.9%	平成 29 年度	36.5%
平成 30 年度	45%						

○方策

- ・授業中の言語活動を増やし、パフォーマンステスト等を適切に行い、指導と評価の改善を促す。
- ・「英語教師塾」を実施し、言語活動の効果的な指導実践を共有して指導モデルを作り、生徒の学習意欲を引き出し、英語による発信力を高める授業力の向上を図る。
- ・「中学生の英語力向上事業研究校」（県内3校）や「英語教育重点校」（県立高校2校）を指定し、CAN-DOリストを活用して指導と評価の改善に取り組み、外部試験による検証を行い、成果のある実践指導を英語教育推進フォーラムや各種研修会で紹介する。

③「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

・中学校

平成26年度	設定	1.7%	公表	1.7%	達成状況の把握	0%
平成27年度	設定	100%	公表	5.3%	達成状況の把握	28.1%
平成28年度	設定	98.2%	公表	12.3%	達成状況の把握	28.1%
平成29年度	設定	91.2%	公表	8.8%	達成状況の把握	29.8%
平成30年度	設定	100%	公表	50%	達成状況の把握	50%

・高等学校

平成26年度	設定	100%	公表	4.8%	達成状況の把握	40.3%
平成27年度	設定	100%	公表	27.3%	達成状況の把握	33.3%
平成28年度	設定	100%	公表	15.2%	達成状況の把握	36.4%
平成29年度	設定	100%	公表	100%	達成状況の把握	42.4%
平成30年度	設定	100%	公表	100%	達成状況の把握	50%

○方策

- ・中学校においては、市町村教育委員会のホームページに、学校ごとの「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を掲載するよう求める。
- ・高等学校英語担当教員対象の英語指導法に関する研修で、パフォーマンステスト及び定期テストの適切な作成方法や実施方法などの学習到達目標の達成状況を把握する具体的な方策について周知する。
- ・「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を活用した授業中における適切な言語活動の設定と評価方法について、研修会や公開授業後の指導助言で周知し、CAN-DOリストを活用した指導改善を更に進める。

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合（授業時間の50%以上実施の教員）

・中学校

平成26年度	26.7%	平成27年度	69.8%	平成28年度	45.3%	平成29年度	73.5%
平成30年度	75%						

・高等学校

平成26年度	40.3%	平成27年度	49.8%	平成28年度	46.3%	平成29年度	50.8%
平成30年度	55%						

○方策

- ・県で作成した「シャトルチャット」（中学生用教材）の活用を広く促す。
- ・英語教育推進リーダーによる指導力向上研修や公開授業及び研修協力校の研究授業等で4技能に係わる言語活動についての効果的な指導のあり方について理解を深める。
- ・「英語教師塾」で生徒のスピーキング力を伸ばす指導について研修を行い、効果的な指導方法について実践した内容を県内に広める。

⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキ

ングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

<スピーキングテスト>

・中学校

平成 27 年度 8.1 回 平成 28 年度 6.8 回 平成 29 年度 6.5 回
平成 30 年度 7 回以上

・高等学校

「コミュニケーション英語Ⅰ」

平成 27 年度 1.1 回 平成 28 年度 1.8 回 平成 29 年度 1.6 回
平成 30 年度 2 回以上

「コミュニケーション英語Ⅱ」

平成 27 年度 1.0 回 平成 28 年度 0.8 回 平成 29 年度 0.7 回
平成 30 年度 2 回以上

「コミュニケーション英語Ⅲ」

平成 27 年度 0.4 回 平成 28 年度 0.6 回 平成 29 年度 0.3 回
平成 30 年度 2 回以上

「英語表現Ⅰ」

平成 27 年度 1.0 回 平成 28 年度 0.9 回 平成 29 年度 0.8 回
平成 30 年度 2 回以上

「英語表現Ⅱ」

平成 27 年度 1.3 回 平成 28 年度 1.2 回 平成 29 年度 0.9 回
平成 30 年度 2 回以上

<ライティングテスト>

・中学校

平成 27 年度 4.4 回 平成 28 年度 4.3 回 平成 29 年度 4.9 回
平成 30 年度 5 回以上

・高等学校

「コミュニケーション英語Ⅰ」

平成 27 年度 0.4 回 平成 28 年度 0.8 回 平成 29 年度 1.0 回
平成 30 年度 2 回以上

「コミュニケーション英語Ⅱ」

平成 27 年度 0.6 回 平成 28 年度 0.7 回 平成 29 年度 1.0 回
平成 30 年度 2 回以上

「コミュニケーション英語Ⅲ」

平成 27 年度 0.5 回 平成 28 年度 0.3 回 平成 29 年度 0.1 回
平成 30 年度 2 回以上

「英語表現Ⅰ」

平成 27 年度 0.4 回 平成 28 年度 0.8 回 平成 29 年度 1.3 回
平成 30 年度 2 回以上

「英語表現Ⅱ」

平成 27 年度 1.5 回 平成 28 年度 1.9 回 平成 29 年度 2.9 回
平成 30 年度 3 回以上

○方策

- ・小中高の研修協力校でパフォーマンステストのルーブリックを共有し、その成果と課題を検証し、パフォーマンス評価の在り方について県内の学校へ周知する。
- ・高等学校英語担当教員対象の英語指導法に関する研修で、パフォーマンステスト及び定期テストの適切な作成方法や実施方法などの学習到達目標の達成状況を把握する具体的な方策について周知する。
- ・「英語教師塾」において、スピーキング指導とその評価について研修を深め、効果のあった実

践事例を広く周知する。

⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況（発話の50%以上を英語で行っている教員）

・中学校

平成26年度 26.7% 平成27年度 56.5% 平成28年度 75.2% 平成29年度 61.3%
平成30年度 65%

・高等学校

平成26年度 40.3% 平成27年度 47.4% 平成28年度 46.3% 平成29年度 48.1%
平成30年度 65%

○方策

- ・英語教育推進リーダーによる指導力向上研修や公開授業を通して、言語活動における教室英語とその活用方法や生徒とのやりとりについて理解を深める。
- ・「英語教師塾」で言語活動の効果的な指導実践を共有して本県の指導モデルを作り、県内の学校へ周知する。

⑦英語担当教員に対する研修実施回数（延べ数）及び研修受講者の人数（延べ数）

・小学校

平成26年度	9回	179人	平成27年度	4回	121人
平成28年度	4回	115人	平成29年度	21回	2384人
平成30年度	5回	140人			

・中学校

平成26年度	5回	272人	平成27年度	10回	318人
平成28年度	6回	203人	平成29年度	11回	324人
平成30年度	6回	200人			

・高等学校

平成26年度	5回	152人	平成27年度	11回	298人
平成28年度	6回	151人	平成29年度	6回	204人
平成30年度	5回	150人			

⑧英語の学習が好き、と答えた生徒の割合

・中学校（全ての公立中学校で調査）

平成26年度 未実施 平成27年度 未実施 平成28年度 66.8% 平成29年度 68.6%
平成30年度 70%

・高等学校（全ての全日制県立高等学校で調査）

平成26年度 未実施 平成27年度 30.0% 平成28年度 51.0% 平成29年度 53.4%
平成30年度 57%

○方策

- ・「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を指導と評価に適切に活用する。
- ・生徒が自分の考えや気持ちを英語で伝える言語活動を充実させ、生徒の自己有用感や自尊感情を高めることにつなげる授業実践を県内の学校に紹介する。

⑨英語力が向上した、と答えた生徒の割合

・中学校（全ての公立中学校で調査）

平成26年度 未実施 平成27年度 未実施 平成28年度 80.5% 平成29年度
83.6% 平成30年度 85%

・高等学校（全ての全日制県立高等学校で調査）

平成26年度 未実施 平成27年度 36.1% 平成28年度 60.5% 平成29年度
63.5% 平成30年度 67%

○方策

- ・「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標を生徒に周知し、授業での指導内容を適切に評価し、達成状況を生徒と共有し、生徒に達成感を持たせる。
- ・自己評価シートの導入で生徒の意識に大きな変化が見られた好事例を県内の学校に周知する。

(3) 研修の体系と内容の具体

①英語教育推進リーダーによる教員研修

- ・研修名：中学校英語教育推進リーダーによる指導力向上研修
 - ・研修対象者：中学校英語教員
 - ・研修の目的・内容：平成29年度中央研修参加の中学校英語教育推進リーダーが中央研修で学んだ内容を県内教員に伝達。3日間実施。
 - ・受講予定者数：30名程度（平成27年度から4年間の悉皆研修）
 - ・研修の評価方法：研修参加者にアンケート調査を実施。研修参加者が提出する学習指導案。
 - ・外部専門機関及び研修協力校とのかかわり：ブリティッシュ・カウンシルと連携して研修を実施し、報告書を提出。
- ※平成26年度から平成29年度までの小・中・高等学校英語教育推進リーダーが中央研修で学んだ内容を踏まえ自校での授業を公開し、研修参加者との意見交換を行い、県内教員に成果を還元する。

②高等学校英語担当教員の指導力向上事業

- ・研修名：英語教師塾
- ・受講予定者数：
- ・研修の目的・内容：英語教育推進リーダー、本県認定のエキスパート教員を中心に研修グループを構成し、専門の有識者から効果的なスピーキング指導法について学び、言語活動の効果的な指導実践を共有し、本県の指導モデルを作る。年度内4回実施（うち2回は専門の有識者を招聘）
- ・研修の評価方法：研修の成果物として作成する指導実践例

③中学校、高等学校英語担当教諭対象の評価に関する研修

- ・研修名：生徒の言語活動を促進する指導と評価についての研修
- ・研修対象者：各県立高等学校英語教員1名、希望する中学校教員
- ・受講予定者数：30名程度
- ・研修の目的・内容：生徒の英語によるパフォーマンスを適切に評価し、さらに教員が評価を自らの指導改善につなげるため、東京外国語大学教授（予定）を講師に招聘して、研修を行う。年度内1回実施。
- ・研修の評価方法：研修参加教員が提出する学習指導案

④英語教育研修協力校支援研修

- ・研修名：英語教育研修協力校支援研修
- ・研修対象者：研修協力校英語科教員及び域内の小・中・高等学校英語教員
- ・研修目的・内容：県教育委員会が連携する大学等の教員が研修協力校教員の授業改善について指導助言を行ったり、研修協力校が自校の課題を解決することを目指して招聘する大学教員等のワークショップで県内小・中・高等学校教員が実践的指導方法を学んだりする。研修協力校ごとに年度内1回実施。
- ・受講予定者数：50名程度
- ・研修の評価方法：研修参加者にアンケート調査を実施。

⑤英語教育推進フォーラム

- ・研修名：英語教育推進フォーラム
 - ・研修対象者：小・中・高等学校英語教員
 - ・研修目的・内容：「英語教育推進会議」で研究協議を行い、「研修協力校」、「英語教育重点校」や「英語教師塾」などの取組の成果と課題、今後の展望について、各校の代表が発表を行い、さらに専門の有識者の基調講演や本県における英語教育の牽引者によるパネルディスカッションを実施し、次期学習指導要領を視野に入れた全県的な英語教育推進を促進する。
 - ・参加予定者数：120名程度
 - ・研修の評価方法：研修参加教員を対象とするアンケート調査
- ⑥外国語指導助手の指導力等向上研修
- ・研修名：外国語指導助手の指導力等向上研修
 - ・研修対象者：ア 中・高等学校外国語指導助手
イ 中・高等学校英語教員
 - ・研修目的・内容：学習指導要領に基づき、外国語指導助手と英語教員が協力しながら、より効果的な指導を行えるよう、専門の有識者による講義演習を行い、各校の取組について協議する。
 - ・受講予定者数：150名程度
 - ・研修の評価方法：研修参加教員を対象とするアンケート調査
- ⑦教員の英語力向上
- ・研修名：教員の英語力向上のためのセミナー及び判定試験実施
 - ・研修対象者：求められる英語力を有していない中学校・高等学校の英語教員
 - ・研修目的・内容：教員の英語力の向上のためのセミナーを開催し、判定試験に備える。英語の外部試験であるTOEICの団体受検を実施し、教員の英語力の判定を行い、実態を把握して今後の施策に反映させるとともに、英語力の向上を図る。
 - ・受講予定者数：130名程度
 - ・研修の評価方法：外部試験
- ⑧小・中・高等学校英語の専門研修（県教育センター主催）
- 【小学校外国語・外国語活動】
- ・研修名：教科化を見据えたこれからの外国語教育の授業づくり
 - ・研修対象者：希望する教員
 - ・研修目的・内容：専門の有識者による講義と演習をとおして、教科化を見据えたこれからの小学校外国語教育の方向性やあい方を理解するとともに、授業づくりのポイントや教員として必要な英語について学ぶ。
- 【中学校英語】
- ・研修名：主体的・対話的で深い学びをめざした学びあいのある授業づくり
 - ・研修対象者：希望する教員
 - ・研修目的・内容：専門の有識者による講義と演習をとおして、他者との関わりによる学び合いや働きかけを生みだし、主体的・対話的で深い学びをもたらす指導方法について学ぶ。
- 【高等学校英語】
- ・研修名：生徒のコミュニケーション能力を高める授業づくり～「話すこと（やりとり）」の指導を中心に～
 - ・研修対象者：希望する教員
 - ・研修目的・内容：専門の有識者による講義と演習をとおして、話すこと（やりとり）の力を育てる指導を中心に、生徒の英語力・英語学習力を高める生徒との関わり方、授業での言語活動、基本的な指導・支援について学び、実践的指導力

<p>の向上を図る。</p> <p>⑨教科・領域指導力向上ゼミナール（県教育センター主催）</p> <p>【小学校外国語活動・外国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者：市町村（学校組合）教育委員会から推薦を受けた小学校教諭 ・研修目的・内容：自己の授業実践を振り返り、課題を明らかにするとともに、先進校や代表者の研究授業、文部科学省教科調査官を含む講師による講義・演習をとおして、県のめざす授業づくりに沿いながら、教科・領域の専門性を高め、授業改善を推進する。 <p>【中学校英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者：市町村（学校組合）教育委員会から推薦を受けた中学校教諭 ・研修目的・内容：自己の授業実践を振り返り、課題を明らかにするとともに、先進校や代表者の研究授業、専門の有識者による講義・演習をとおして、県のめざす授業づくりに沿いながら、教科・領域の専門性を高め、授業改善を推進する。

（４）年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度中学校英語教育推進リーダーによる指導力向上研修① ・研修協力校連絡協議会① ・英語教師塾① ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（小学校外国語活動・外国語）① ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（中学校英語）① 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度中学校英語教育推進リーダーによる指導力向上研修② ・英語教育推進会議① ・英語教育推進リーダーによる公開授業（中学校） ・県教育センター主催の専門研修（小学校外国語・外国語活動） ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（中学校英語）② 	立命館大学・岐阜大学
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育推進リーダーによる公開授業（高等学校） ・教員の英語力向上事業（教員の英語力向上のためのセミナー） ・県教育センター主催の専門研修（高等学校英語） ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（小学校外国語活動・外国語）② 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を高める指導と評価についての研修 ・平成29年度中学校英語教育推進リーダーによる指導力向上研修③ ・研修協力校連絡協議会② ・英語教師塾②③ 	東京外国語大学 ○○大学

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修協力校支援研修（中学校） ・研修協力校支援研修（高等学校） ・教員の英語力向上事業（外部検定試験団体受検） ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（小学校外国語活動・外国語）③ ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（中学校英語）③ 	立命館大学・岐阜大学 立命館大学・岐阜大学
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修協力校支援研修（小学校） ・英語教育推進会議② ・県教育センター主催の専門研修（中学校英語） ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（小学校外国語活動・外国語）④ 	立命館大学・岐阜大学 立命館大学・岐阜大学
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育推進フォーラム ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（中学校英語）④ 	立命館大学・岐阜大学
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修協力校連絡協議会③ ・英語教師塾④ ・外国語指導助手の指導力等向上研修 ・英語教育推進会議③ 	立命館大学・岐阜大学
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（小学校外国語活動・外国語）⑤ ・県教育センター主催教科・領域指導力向上ゼミナール（中学校英語）⑤ 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育推進リーダーによる公開授業（小学校） 	
3月		
<p>【その他の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の英語力向上事業 ・外部検定試験を活用した高校生の英語力向上事業 ・中高生イングリッシュキャンプ（8月に2泊3日で実施） ・グローバルリーダーズキャンパス（スタンフォード大学連携高校生遠隔講座。年間10レッスン実施） ・高校生英語弁論大会（9月実施） 		

